

業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2022. 10. 19

No. 677

2022年年末手当

要求書提出

基準内賃金×2,78ヶ月以上支給を求める

※春闘時、期末手当年間4,5ヶ月以上（夏季2,1ヶ月以上・年末2,4ヶ月以上）支給することと要求しており、2022年夏季手当支給額が1,72ヶ月だったため。

要求書

未だにコロナ感染症収束見通しが見えないことや、世界情勢の影響による半導体不足・燃料費高騰、大規模な自然災害等でJR貨物グループは厳しい舵取りを余儀なくされています。こうした中においても、組合員は国からの指定公共機関の責務として、日々、安全安定輸送に努めており、この難局を労使が一体となって打破していかなければなりません。

会社は、「JR貨物グループ長期ビジョン2030」を策定しましたが、構築するためには組合員の協力が不可欠であり、「組合員の士気を上げる」・「優秀な人材確保」のためにも労働条件改善は必須であります。

多くの要因により、2022年度上半期の業績も非常に厳しい結果となりましたが、我が組織は会社の経営を常に考え、JR貨物における政策課題解決に向け、真摯にJR連合と共に取り組んでおり、これまでの経過を踏まえれば、私達の要求に応えられる体力は十分にあると認識します。

以上を踏まえ、会社の状況が大変厳しいことは理解しますが、改善されない労働条件・大幅な物価上昇等で組合員の生活も大変厳しいことを認識して頂き、私達の主張を真摯に受け止め、満額回答を強く求めます。

組合・大幅な物価上昇等で組合員の生活が相当厳しいことを認識し、交渉を真摯に進めて頂きたい。

年末手当は夏季手当とは意味合いが全く違うことを理解して頂きたい。

会社・真摯に交渉を進めていきたい。

組合・要求の趣旨については次回の交渉で説明する。趣旨説明の交渉日時はいつか。

会社・10月25日（火）を予定している。

組合・回答予定日はいつか。

会社・11月18日（金）を予定している。

組合・組合員の切なる声を経営陣に届けて頂き、満額回答を強く求めたい。

会社・真摯に交渉を重ね、社内議論を進めていきたい。

以上